

- 光化学オキシダントなどによる大気汚染の改善を図るためには、その原因物質である揮発性有機化合物（Volatile Organic Compounds「略称VOC」）の排出抑制が必要です。VOCは、塗料、印刷インキ、接着剤、洗浄剤、ガソリンなどに含まれるトルエン、キシレン、ホルムアルデヒドなどが代表的な物質です。さらに、VOCを適切に管理することは大気汚染防止だけでなく、職場環境の改善、コストの削減等の効果があります。
- この度、VOCの排出抑制の意義やメリットなどを関係事業者等に対し幅広く周知するほか、大気汚染防止法の改正を踏まえ、水銀排出抑制に向けた取組を促進することを目的として、加えて、「高濃度PCB廃棄物」の期間内処理の達成に向けた方法等について周知することを目的として、愛知県にてセミナーを開催しました。

■令和元年度VOC・水銀排出抑制及びPCB廃棄物の適正な処理促進に関するセミナー

日時：令和2年1月30日（木）13：30～16：00

場所：名古屋市工業研究所（名古屋市）

主催：中部経済産業局

共催：愛知県、名古屋市、愛知県中小企業団体中央会

参加者：265名

【講演】

「愛知県におけるVOC排出抑制の取組等」

愛知県環境局環境政策部水大気環境課 技師 大洞 健太郎

「VOC排出削減対策の動向」

経済産業省産業技術環境局環境管理推進室 室長補佐 立松 博樹

「水銀大気排出対策について」

環境省中部地方環境事務所環境対策課 主査 川合 学

「PCB廃棄物の適正な処理の促進について」

環境省中部地方環境事務所資源循環課 PCB処理対策専門官 山本 満彦

【取組事例】

「VOC排出削減対策事例の紹介」

住友理工株式会社 生産機能本部 安全環境統括部 環境管理部長 今枝 稔明 氏

